

令和4年度 第1回 学校運営協議会 議事録

日 時：令和4年度6月24日（金） 15:30～
場 所：応接室
司会者名：企画研究グループ 中島
記録者名：企画研究グループ 瀧本
出席者：学校運営協議会委員6名、本校教職員11名
欠席者：(委員) 東 宣子 様 *事前に意見聴取
(委員) 綿貫 忍 様

1 次 第

- (1) 校長挨拶
- (2) 学校運営協議会委員委嘱、出席者紹介
- (3) 議事
 - ① 学校運営協議会の活動について
 - ② 令和3年度学校評価報告書（実施結果）及び令和4年度学校評価報告書（目標設定）について（副校長）
 - ③ 各グループ等からの報告及び意見交換
 - カリキュラム開発グループ
 - ・新学習指導要領導入に向けた取組について
 - ・一人一台端末導入に向けた取組について
 - 学校管理運営グループ
 - ・本校における防災体制について
 - 企画研究グループ
 - ・令和4年度広報活動の予定について
 - ・授業改善に向けた取組について
 - ガイダンスグループ
 - ・令和4年3月卒業生徒の進路状況について
 - 生徒指導グループ
 - ・各生活指導について（挨拶・服装・遅刻・交通安全指導 等）
 - ・教育相談について
 - 生徒支援グループ
 - ・体育祭、文化祭等の諸行事について
 - ・部活動及び生徒会活動の状況について
 - 商業科から
 - 工業科から

2 配付資料

- (1) 令和4年度 学校運営協議会委員名簿
- (2) 令和4年度 学校要覧
- (3) 令和4年度 学校運営協議会運営計画書（第6号様式）
- (4) 神奈川県立学校のコミュニティスクールの手引き（学校運営協議会制度）

3 役割分担

- (1) 受付・案内 【企画研究G・副校長・教頭】
- (2) 司会・進行 【企画研究G 総括教諭】
- (3) 記録 【企画研究G】
- (4) 説明 【各総括教諭】

4 議事録

(1) 校長挨拶【校長】

3年ほど新型コロナウイルス感染症の影響があったが、今年度は通常授業に戻すことを検討している。在籍生徒のうち120名ほどの登校時間が60分以上なので、現在はまだ時差登校を実施しているが、2学期からは通常登校、55分授業を実施予定である。体育祭では、保護者の観覧を実施した。9月に2年生が修学旅行、10月には文化祭、11月には3年生の修学旅行を予定している。

今年度の学校運営協議会開催にあたり、今後の本校の在り方について様々なご意見をいただければと思う。

(2) 学校運営協議会委員委嘱、出席者紹介

(3) 議事

①学校運営協議会の活動について【副校長】 配付資料(3)、(4)

本校では平成30年4月から設置した。資料の通り、3つの機能がある。委員から出された意見を、校長経由で県に報告することで学校運営の発展を目指している。今年度の活動予定は、資料(4)にある通り。ご協力をお願いしたい。

②令和3年度学校評価報告書(実施結果)及び、令和4年度学校評価報告書(目標設定)について【校長】 配付資料(2)

実施結果については、1年間の各教育活動を総括したものである。基礎学力の定着や各検定試験の合格者数の増加を目指し、ある程度の目標を達成することができた。生徒指導においては、多様な生徒に対応するためSC・SSWや外部機関と連携をしている。また、昨年度入学者選抜においては、総合技術科が定員を超えたが、総合ビジネス科は0.9倍にとどまった。インターンシップや仕事のまなび場は、緊急事態宣言により中止となり残念であった。今年度は、地域との連携や学校管理、避難訓練実施などに工夫を行っていきたい。

③各グループからの報告及び意見交換

○カリキュラム開発グループ【大嶺総括教諭】

令和4年度入学生より新学習指導要領が導入された。本校の新しい教育課程については、資料をご確認いただきたい。また、成績評価方法も3観点で評価し、5段階の評定を算出する形式に変更となった。

令和4年度入学生より、県では一人一台端末を導入した。本校では、iPadを導入し、その活用のためリクルートのスタディサプリによる基礎学力と学習習慣の定着を目指している。4月に到達度テストを1年生で実施した。

○学校管理運営グループ【塩澤総括教諭】

本校における防災マニュアルの改訂版を、現在作成中である。防災訓練を実施し、教員の行動規定や火災時の避難ルート等の情報を共有する。集合避難はコロナの観点から厳しいが、日頃から防災を意識させたい。また、昨年度は、災害図上訓練を実施した。本校は、土砂災害のハザードマップに一部含まれている。

避難場所など防災設備を年2回確認し、2ヶ月に1度教室の備品確認、年1回食料品消費期限の確認を実施している。物資格納場所はマニュアル作成次第共有する。

○企画研究グループ【中島総括教諭】

令和4年度は、地域との連携を重視したい。5月は本校でも感染者が増加し交流を見送ったが、感染状況も見ながら進めていきたい。

入学者選抜では、定員割れが起き、目標を達成できなかった。令和5年度入選は目標を達成したい。また、授業改善に向けた取組についても進めていく。

ホームページによる情報発信を心掛け、更新をこまめに行って生徒の活躍を掲載していく。

○ガイダンスグループ【高木総括教諭】

令和4年3月卒業生徒の進路状況については資料をご確認願いたい。就職者は117/204人、57.4%で例年より増加した。未定者が3名いるが、各自理由がある。昨年度の第1回就職試験では、技術科90%超、ビジネス科が70%の合格率であった。最終的には1600~1700社ほどの企業から求人票をいただいた。技術科は人手不足で求人が多く、ビジネス科は事務職の募集が昨年より少なかった。

今年度の4月の調査では、52%が就職希望だったが、6月には60%となった。求人数は多く、商工は、就職に対し良いイメージである。

○生徒指導グループ【遠藤総括教諭】

昨年度は、入試定員割れにより指導件数が多かった。また、喫煙防止や薬物乱用防止の講演会はオンラインで実施した。今年度の2、3年生は落ち着き、1年生も落ち着いている。目標は現状の維持及び、向上である。頭髮・遅刻指導などしっかり行っていく。

SC・SSWとの連携により、保護者+生徒の不安の相談を受けている。また、お知らせを活用し、よりSC・SSWと連携を強化する。

近隣からの自転車・バスの乗車マナーで苦情がきている。対応として担任に声掛けをお願いしている。自転車のステッカー確認と、保土ヶ谷警察と連携して自転車指導を実施予定である。

○生徒支援グループ【加藤総括教諭】

体育祭については、商業と工業の専門高校として、2色対抗と商業対工業（商工戦）の種目を実施した。文化祭も商工の特色を大切にして学習の成果発表の場として活用したい。

部活動及び、生徒会活動の状況について、部活動の活性化を目標にしている。昨年は、部活動加入率20%であったため、今年度は50%を目標にしている。

生徒にはバイトより高校生の時間を、お金でないものを得てほしい。

○商業科から【加藤総括教諭】

今年度、新しいカリキュラムがスタートしたので、現2年生と明確に違いを持たせた。2年から会計・流通に分け、公的検定取得を目指している。

商品開発流通新2年生の商品開発5時間設定。情報処理でパワーポイントを活用しプレゼンテーション能力を高め、大人に伝える力を育てる。また、外部との連携により生徒の学びを支える。

○工業科から【大嶺総括教諭】

予算や活用は、現在検討中である。課題としては、分析機の試薬が1本5万円もする。良いものを導入しても、活用できていない現状がある。また、加工材料費用等が生徒負担という悩みもある。

5 意見交換

【中委員】一人一台端末の目的は何か？良いことであるが目的が不鮮明ではよくない。

【校長】探究的な学びのための活用が目標の一つである。コンピュータ室しかないので、手元に端末があれば調べることができる。今まではスマートフォンで調べていたが、学校のWi-Fi環境も整った。保護者にスマートフォンを買ってほしいとは伝えにくい、学習用のタブレット購入なら伝えやすく受け入れられやすい。

【中委員】防災時の対応はどうなっているか？例えば大雪時における対応や安否確認の手段はあるか？

【塩澤総括教諭】マチコミメールで連絡する。開封確認機能もある。

【中委員】ガイダンスグループの方に質問する。就職後の定着は追っているか？卒業1年後に連絡アンケートなどは実施しているか？定着が気になる。私は mismatch を気にしている。仕事の中身・社会・求人数などで mismatch を避けては？パソコンを通してアンケートなどはどうであろうか？

【高木総括教諭】生徒は来ない。「ここまでやってもらって？」という思いがある。追跡調査については、今後検討する。

【樋口委員】採用・教育担当をしている。スタディサプリの活用状況は？基礎のやり直しは、自分としても良いことだと思う。また、希望企業の決め方は、保護者の意見か子供の意見か？企業のどこを見ているのか？

【大嶺総括教諭】学習習慣が定着していないので、生徒目線ではスタディサプりはハードル高い感じがするようだ。学力が低い生徒ほど手を付けない傾向があるので、課題をやる生徒は、自然と学力が上がっていく。10月の到達度テストまでが、学び直しの機会である。

【高木総括教諭】生徒は、給与・休み・勤務地などで決定していると思う。保護者進路説明会では、保護者の方が会社を決めたり生徒だけに任せたりとしないしてほしいと伝えている。家庭でしっかり話し合っ決めてほしいと思っている。決め手というものはない。仕事の適性・不適性なども確認する。

【中村委員】左近山団地で高齢者支援コミュニティ支援をやっている。カフェで5月に商工にオファーしたが時期的に合わなかった。年2回ほど野外コンサートをしている。秋にもあるのでよろしくお願ひしたい。

パソコンで一人一台エクセル・ワードが活用できると良い。商工で教えることが大事である。デジタルコンテンツのコミュニケーションが大事である。

【鈴木委員】自分は4月から学校教育に関わることとなった。平成12年度から業務

にパソコンが導入された。エクセル・ワードができて、パワーポイントを苦手とする若者がいる。プレゼンで伝える能力、パワーポイントのような人に伝える力が大事である。大学生でもパソコンが使えない学生がいる。スマートフォンは情報検索のみ。周りとのコミュニケーションだけの道具になっているが、検索能力は仕事の上でも大切なので授業で学んでほしい。

【長谷川委員】一人一台端末の活用方法について、県から具体的な指示はあるのか？パワーポイントやエクセル・ワードなどあるが、言葉の上では探究と言っているが具体的な内容を理解しているのか。また、質問の場はあるのか？

具体的な活用方法と明確な指示、全体の方向をまとめ共有できているのか？まとめる場はあるのか？端末があれば自ら探究する気持ちを持てるのか？技術科とビジネス科、学校としての活用方法が大事になるのでは？

【中村委員】人間教育は技術のみか？仲間とやり遂げるコミュニケーションが大事なのでは？将来の大きな力となる生徒、一人ひとりに光をあてることが大切である。商工で良かったと思えるよう様々な経験をさせてほしい。

【校長】一人一台端末の購入については、国からというより県の指示で今年度入学生より購入をお願いしている。昨年度は、スマートフォンを使った授業や学校のルーターなどの貸与も行った。教科横断の探究的な学びで、他者に発表ができる力を育みたい。文部科学省からは知識は検索し、頭の中に暗記することは必要ないと言っている。注視するべきはそこではないが、端末については義務教育では貸出しているが、高校では自費購入をお願いした。

【副校長】中学校での端末の使い方は？

【兼田委員】小学校では iPad、中学校では Chromebook を公費で用意し活用している。使い方は学習のまとめや調べ学習、Meet 会議、表計算シートなどである。

【樋口委員】生徒だけでの使い方などがあり、パワーポイントの使い方は教えなくても交流・発表し合えば発展していけるので、広がり共有する事が大事である。

【中委員】工業と商業の交流はあるか？専門性があると授業の交流がないのもつたいないと感じる。共同課題探究などで PC 活用を通じて使い慣れる面白さを知ってほしい。特別学級の子たちがダンスを調べて文化祭で実演した。交流探究心が高く、意見経験を学べる場を持つことが大切であると学んだ。

【加藤総括教諭】ビジネス科と技術科の交流予定は計画している。課題研究の枠の中でなくなってしまった“ものづくりとビジネス”の復活を検討中である。

【兼田委員】学校運営のスクールポリシーの設定理由は？横文字をわかりやすく簡単に教えてほしい。1年生ではビジネス科と技術科が混在していて、2年生から分かれるという認識でよいのか？ビジネス科が3クラス、技術科が3クラスの認識でよいのか？

出身中学校の在籍人数減少の理由は？進路変更か？3年間でどのくらい進路変更しているのか？年々減少しているのか？

配付資料（2）目標 p 6 取り組みにおける部活動の加入率増は賛成。学校運営ペーパーレス化は推奨します。支援したい。配付資料（2）p 4 は独自の設定ですか？

【校長】ペーパーレス化については、職員会議、朝打ち等で実施している。スクールポリシーについては、平成 28 年にスクールミッションが県の教育委員会から各校に示され、スクールポリシーは文部科学省から作成の指示があった。元は、スクールミッションからスクールポリシーを校長先生から職員会議を

通じて決定された独自のものである。教育委員会を通して作成された。

【大嶺総括教諭】1年生は、各クラスでビジネス科と技術科半々の生徒で授業を展開している。2年生からは、1～4組がビジネス科、5～8組が技術科で分かれている。系の選択は自由で、技術科計80人で、オーバーはほぼしない。ビジネス科は制限なし。

技術科が定員割れしていたこともあり、昨年1年生が30人ほど進路変更をしている。ビジネス科では数人のみだった。一昨年は十数人だった。

5 最後のあいさつ【校長】

地域に信頼される学校づくりを目指す。最近近隣の方からバスの乗車マナーや喫煙など苦情が多いが、「評判は最大の推薦状」なので生徒自身のためにもしっかり指導していきたい。